

縁を切るべき人の特徴

新しい年を迎え、心機一転！今年も良い一年にしてまいりましょうね。人は人との繋がりなくして生活していくことは出来ません。また、縁ある人との関係性によって、自分の人生が大きく左右されてしまいます。そこで、自分と縁ある人を見極める目を持つことが大切になってきます。でもどうやって、良縁なのか悪縁なのかを見極めれば良いの？と思われる方も少なくないと思います。今年一年が健康で、心安らかに過ごすために、悪縁を断ち切る為の、見極めポイントについて解説してまいりたいと思います。ぜひ参考になさってみて下さいね。

【縁を断ち切るべき5種類の人】

◆1つ目「何でも取っていく人」

自分が貸した物は右に刻んでも覚えていくくせに、人から借りた物は綺麗さっぱり忘れてしまう人です。忘れ物したり、誰かに何かを貸してもらったり、逆に貸してあげたりという経験って、誰にでもあると思います。ただ借りた物はあくまで借り物ですから、いつかは返すのが借りた者の筋と言えます。なのに、貸した事は覚えていないのに、借りたことはスツカリ忘れてしまっている。おまけにまた「貸して」と催促してくる様な人とは、縁を絶ちきるべきです。あなたの

貸してあげたところからネガティブな感情が溜まっていくものです。貸した物を返してもらおうなんて気持ちは無くても、相手が借りた事さえ忘れていて、そんな忘れても平気な心が相手にあるという時点で、その人に対して信用を失いますよね。その後の信頼関係は良好に築けるものではありません。

◆2つ目「遊蕩（ゆうとう）の人」

「金にまかせて遊蕩しつくす」なんて事を言ったりもしますが、この遊蕩という言葉あまり聞き慣れない言葉かと思えます。ようは飲酒、麻薬、ギャンブルに溺れる人の事を遊蕩の人と申します。放蕩とか道楽と同じ様な意味合いで使われます。こういう人は、本来やるべき本業はいい加減にして、趣味や遊びにふけています。あなたがもし、こういう遊蕩の人と一緒にいると、いつの間にか影響されて、自分も怠け癖が付いてしまいますよ。私達は周りにいる人の態度や考え方に強く左右される環境の生き物でもあります。目標も無くダラダラ生活しているダラしない人と一緒に過ごしていれば、余程「芯」がシツカリしていない限り、あなたも同じような生き方に溺れてしまいます。自分磨きもしない怠け癖が染み込んでしまいう前に、付き合いを解消するのが賢明かと思えます。

◆3つ目「あなたを不幸な気持ちにする人」

上手くいっていた流れを突然断ち切られると、私達は不安になります。例えば、一度や二度、無視されたくらいなら、あの時機

嫌が悪そうに見えたのは、たまたまタイミングが悪かっただけかな？と思つて、なんとか持ち直せたとしても、それが繰り返されると、その人とは出来るだけ顔を合わせたくなくなつてきて、だんだんと対等な関係を築けなくさせます。こうやってあなたを不安にさせたり、不幸な気持ちにさせるような人とは、離れるべきです。

「なんとか平和的に解決したい」という多くの人が持つ普通の気持ちを利用し、「人に気を遣つてもらおう」事で、自尊心を満たすことに慣れていきます。気軽に物を言えない気配を感じるなら、ご自分の身を守るために距離を置く必要があります。もしも職場や学校や、趣味の場などで、不穏な空気を感ずるのなら、そこは友人関係を築くための場所ではないことを悟つて、そこに自分がいるのは何の為？仕事のため、勉強のため、趣味を楽しむためなど、それぞれの場において、自分は「何の為にここに居るのか？」という視点を思い出して、孤独を恐れないことが大切です。自分の気持ちや個性を大事に守って頂くことで、あなたは今ままで変わらなず、自分らしく生きる事が出来ます。社会生活の中では、自分の心が揺るがない自分軸を大切に作る強さを持つことが、結果的に自分を守ることに繋がります。

◆4つ目「言葉遣いが悪い人」

言葉遣いは「その人らしさ」の表れですから、聞いていて不愉快になる様な言葉遣いをしてる人とは、あまり深い関係にはならない方が宜しいかと思えます。言葉遣いは、その人の思考が言葉という形になって口を突いて出たものです。あと、周りの雰囲気

も考えずに、自分本位に大きな声で話が出来てしまうような人も要注意人物と言えます。要は、自分さえ良ければそれで良いと思えてしまう人と云えるでしょう。空気を読めずに、大きな声で発言したり、その言葉遣いが悪い人は、周りの人が嫌な気持ちになって迷惑している事にも気づけない、幼い人と言えます。精神が幼い人は想像力が足りないんです。だから悪びれずマナーを守れない人でもあります。例えば、皆がルールを守っている公共の場でも平気でルールを破つてしまつたり、寺社に参拝しに来て、撮影禁止の神仏様を平気で撮影し出したり、それを注意されたら、逆ギレしたりするかもしれません。こういう人と一緒に居ると、あなたも迷惑行為に巻き込まれて、心から楽しい時間を過ごすことは出来ないでしょう。常に神経を遣つて、身心共に疲弊していく、ただただ疲れを溜め込んでいってしまう可能性もあります。言葉つて本当に難しく、言葉だけで行動が伴わない人もいますし、それは本当に気をつけなければならぬ事だと思えます。口先だけの言葉だけで行動が伴っていない人は往々にして、「あの時は、ああしてあげたよね？こうしてあげたのにな？」とか、過去のちよつとした事を恩に着せてきたかと思えば、「今度は、こうしてあげるからね」とか未来のことを語つてきて、信頼を得ようとしてくる人です。で、その言葉を信じてみたのに、いざとなれば「都合が悪いかから」とか自分に都合の良いことを言つて、上手く逃げまわる人でもあります。要は、お世辞を言い、裏では陰口をたたく人うわべだけのうまい言葉を語つて、中身がともなわない人。こんな人は信用もできないし、不信感の方

が勝って、気持ち良く過ごせないから、あなたがこういう人と一緒にいても幸せにはなれません。こういう人からはできるだけ離れて、ご縁を断ち切られた方が宜しいかと思えます。

◆5つ目「人の悪い所しか目につかない人」

自分の意見が正しくて、人の意見を全部否定できてしまう人は自分本位ですので、普通の感覚で付き合っていると、いきなり理不尽な事を、さも当たり前であるかのように言い出したりすると思えます。自分より立場が弱いと思われた人が、特にその標的になってしまおうと思えます。その理由は、

そもそも自分に自信が無いので、自分よりも弱い人を標的にした方が、その人にとっては楽だからですよ。人をバカにしたり、不満や愚痴など否定的なことばかり言う人とは、一緒にいても楽しくありません。自分のことを客観的に見られず、人の欠点をあげつらったり、何でも人のせいにしてたり、後ろ向きな発言が多かったら、聞いているこちら側の気持ちが良いはずありませんよ。そんなのは精神状態にとつて悪いだけですからね。ネガティブな感情はポジティブな感情よりも強いとされており、

誰かの悪口や、何かに不安を抱いているような人は当然、ネガティブな発言や否定的な発言が多いし、そういう人と一緒にいて、将来への希望も持てるわけないし、やる気も湧くはずありません。ネガティブな考えを口に出して喋る人は、あなたにとつて、そこまで無理に付き合う必要はありません。突然あなたの事を標的にしてくる可能性も考えられますから、そうなってしまいう前に、

綺麗さっぱり縁を絶ちきってしまった方が身のためだと思いますよ。

以上、ご紹介させていただいた5つのうち、どれか1つでも当てはまっていたとか、思い当たる節がある方は、付き合い方を一度考え直されてみられる事をお勧めいたします。

その他にも、ご縁を切るべき人の特徴は、まだいくつものポイントがあります。例えば、感謝の気持ちがなくて、平気で嘘を付く人。時間にルーズ過ぎて、あなたの時間を平気で奪う人。

コミュニケーションが取れない人などなど。あなたの周りにそういう人がいらつしやったら、あなたにとつて付き合い方を考え直さざるを得ない人だと思えます。なぜなら、先に交われば赤くなるという諺にもあるように、あなたが嫌だなあと思うような人と一緒にいると、いつの間にかあなた自身が「嫌だなあ」と思っていた人に成り下がってしまったって事になりかねませんよ。

悪い縁に近づくと悪い方へと引つ張られ、いつの間にか悪に染まってしまう。逆に良い事を進めたり、悪いことを戒めてくれる人には出来る限り親しみ近づぐべきと、心得て頂きたいと思えます。ご縁によって人生って雲泥の差になるものなんです。

●【良いご縁を結ぶには】

良いご縁を結ぶためには、まず何をすべきなのか？について仏教的視点からお話していきます。

身口意の三業と言ひまして、体、口、そして心の3つのことを言ひますが、この3つをバランス良く整えると言ひ事、**「三業を整えましよう」と**仏教では教えられます。三業を整えるって具体的にどうするか？と言へば、**体を清潔に保つようにして**またその身なりも清潔感ある服装を心がけます。そして、**落ち着いた行まいで、1つ1つの所作を整えること**。誰に対しても、常に思いやりのある言葉をかけるようにします。

言葉遣いも、穏やかで聞き取りやすい口調を意識することです。そうやって身なりと言葉遣いを整えることで、自然と心も整ってまいります。これが**三業が整った人**と言えます。そういう人のもとには、**自然と良い縁が集まってくる**と仏教では教えられています。類は友を呼びます。逆もまた然りです。不潔でだらしない身なりで、偉そうにふんぞり返って自分は何もしない。人には汚い言葉遣いで、ぞんざいに言い放ち、邪な心を持つ人には、それ相応の人が周りに集まってくる事でしょう。悪縁や腐れ縁と言われるような人間関係は、一度結んだら、そうそう簡単に解消できないとも教えられているから厄介ですよ。

同魂の人格が引き合うものだと思いますから、**良きご縁を多く結べるのか？悪しきご縁が広がるのか？**どのようなご縁を結ぶのかは、常日頃からの自分の心がけ次第とも言えそうですね。

●【まとめ】

例えば炭素で譬えてみると、炭素というのは地球上に無尽蔵にあるものです。この「炭素」というのは、「常温常圧」のもとでは「炭」にしかありません。炭は炭でまた価

値はあるんですけどね。ここでの炭素は、私達ヒトを表して、常温常圧というのは、ご縁のある人や出来事などを表しているとしましよう。私達は炭素という**「因縁」**。そして常温常圧という環境が、まさに**「因縁」**の「縁」です。そして炭というのは、**「因縁」としてご縁によって表れた「結果」**ということになります。

ここでのポイントは「環境の「縁」」です。私達が触れるその「ご縁」によって、「結果」が雲泥の差となって現れてまいります。もしこの炭素という私達が、高温と物凄い圧力という「ご縁」が加わると、どうなると思ひますか？なんと！この地球上で一番固くて、高価な価値を生み出す、ダイヤモンドという「結果」となって現れ出るんです。だから「ご縁」が大事なんです。あなたがご縁ある人との付き合い方を考えなきゃいけないんです。その人とのご縁の結果が「炭」になるのか？「ダイヤモンド」のような輝かしいご縁になるのか？あなたの出方次第、心持ち次第で、そのご縁が無限に輝く人生にもなるという事ですね。

縁を切るときは、ためらわずにキツパリ・バツサリと切つても宜しいと思ひます！ご自分の周りに確かにある「良きご縁」に目を向けて、その人とのご縁を大切にさせていただきますね。

あなたの周りには、より良い縁に目を向けて、そのご縁を大切にしていくことが大事です。